

東部療育通信-2016年8月号-

入所と地域の障害児(者)の生活を支援するメールマガジン

発行 東京都立東部療育センター <http://www.tobu-ryoiku.jp/>

日頃より東部療育センターのメールマガジンをお読みいただき誠にありがとうございます。
ございます。

せっかく晴れたと思ったのに突然の雷雨が来たりと、めまぐるしく変わる天気
の今日この頃ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？ まだまだ続く残暑に
水分補給をお忘れなく。

今回は、骨折予防をテーマにお届けします。

また、今後お送りするメールマガジンの参考とさせていただきたく、アンケー
トにご協力をお願いいたします。

【アンケートご回答ページ】

→ . . .

| 骨折の基礎知識

Q1. 重症児者は骨折を起こしやすいのですか？

A1. 重症児者は多く骨折を経験します。重症児施設における骨折の年間発生率は
2～5%といわれています。このセンターでも残念ながらこの5年間に施設利用
者で23件、うち院内発生例14件（年間発生率3.2%）、通院の方にご自宅で9件
の骨折が発生しています。

Q2. なぜ起こりますか？

A2. 高齢者が、ものを持ちあげる、室内で転ぶ、というような比較的軽微な力に
より骨折を起こす、骨が弱いこと（骨粗鬆症）が原因となる骨折が知られていま
す。このことは高齢者だけではなく、重症児者などご自分で動けない方たちにも
起こりうることです。実際、これらの方の骨の強さを調べてみると非常に低下し
ており、そのため骨折が多く発生することが知られています。

Q3. どういうときに骨折しますか？

A3. おむつ替え、更衣や車いすへの移乗など日常の場面でかかる軽微な力で発生
することが多く、また、骨折がいつ起こったかわからないこともあります。介護
のときにかかる非常に小さな力で起こってしまうこともあれば、急に痙攣が起こ
ってしまったり自分の体の重みが支えられないで骨折してしまったりということ
も考えられます。

Q4. どういう部位が骨折しやすいですか？

A4. 骨折を起こす部位としては、多くは下肢です。骨折の多くは大腿骨や脛骨に
起こります。膝の拘縮がある場合、ねじれ、ひねりの力が骨に直接影響し発生す

るのではないかと考えられます。少数ですが、手を振り回す特徴を持つお子さんがベッド柵にぶつけてしまい上腕骨や前腕の骨折を起こしたり、ベッドへ移動するときの背中への衝撃で腰椎の骨折を起こした例もありました。

Q5. 骨折が起こったらどのように治療しますか？

A5. 骨は弱いですが、骨をつくる能力は十分ある方たちです。体全体への負担を考えると手術はあまり向いていませんので、通常、ギプスやシーネでしっかり固定して治療します。固定をすると通常骨癒合が得られます。

Q6. どうしたら骨折を予防できますか？

A6. 現状ではまったく起こらないように管理するのは難しいと思いますが、骨が弱いということを念頭において、できるだけ無理をしない動きをしましょう。緩めの洋服を着ることなども有効かもしれません。現在、重症児者の骨粗鬆症の病態をさらに研究をすすめ、有効な治療を行うことが課題とされています。

今回のメールマガジンはいかがでしたか？

骨折をなくすことは難しく、なるべく起こらないように気を配ることは大切ですが、骨折していることに早く気付いてあげることの大切さも強く感じさせられました。

┆ 読者様へのお願い ┆

今後お送りするメールマガジンの参考とさせていただきたく、アンケートにご協力をお願いいたします。

【アンケートご回答ページ】

→ . . .

┆ I | N | D | E | X ┆

1：施設概要のページへ

→ <http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

2：入所や短期入所をご希望の方

→ http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/nyusho_guide.html

3：施設開放サービス

→ http://www.tobu-ryoiku.jp/service/opening_service.html

4：薬剤と検査の紹介

→ http://www.tobu-ryoiku.jp/service/medicine_inspect.html

┆ 施設概要

●東京都立東部療育センターは、重症心身障害児(者)の医療と療育を総合的に行う施設です。

●少子化が進行する中であっても、心身障害児(者)は減少しておらず、また、障害の程度は重度・重症化しています。更には、家族が高齢となったため家族介護が

困難で施設入所を希望している方も増えています。

●一方で、できる限り住みなれた地域で在宅の療育を望んでいる障害者や家族の方達は多く、その支援の充実を図ることが一層必要となっています。このような状況に対応するため、重症心身障害児(者)施設が整備されていなかった区東部地区に設置することにしました。

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

◆このメールは msw_trc@mtrc.jp のアドレスより配信しております。

◆送信アドレスは配信専用です。お問合せやお手続きは下記よりお願いします。

東部療育通信

発行：東京都立東部療育センター <http://www.tobu-ryoiku.jp/>

個人情報保護方針：<http://www.tobu-ryoiku.jp/privacypolicy.html>

問合せ先：<https://www.tobu-ryoiku.jp/inquiry.html>

〒136-0075 東京都江東区新砂 3-3-25

TEL 03-5632-8070 / FAX 03-5632-8071

●配信がご不要の方は、下記 URL にアクセスして下さい

<https://www5.webcas.net/gs/p/delete-user>

Copyright (C) TOBU RYOIKU CENTER. All Rights Reserved.